

ごあいさつ



昭和 30 (1955) 年 6 月 1 日、当時の大久野村と平井村が合併して「新村・日の出町」が誕生し、昭和 49 (1974) 年 6 月 1 日には全国で 1976 番目の町として町制を施行してから、令和 6 年に町制施行 50 周年、令和 7 年には合併 70 周年という大きな節目の年を迎えることとなりました。この記念すべき年を町民の皆さんとともに祝いできることを、心よりお慶び申し上げますとともに、現在の日の出町の発展は、多くの先人たちのたゆまぬ努力の上に成り立っていることを忘れてはならないと思います。

現在、物価高騰やエネルギー価格の上昇等の影響に加え、人口減少や少子高齢化が進み、社会保障費の増大に対応する等、町は依然として厳しい財政状況が続いております。さらには、老朽化が進む公共施設の適切な維持管理や子育て・教育支援、福祉のまちづくり等、取り組むべき課題は山積しています。これらに的確に対応し、限られた財源を最大限に活かした行財政運営を推進するため、引き続き「PDCA サイクル」の実践や行政改革に取り組んでまいります。

広域連携では、あきる野市との共同整備による新学校給食センターの運営開始や、大学・民間企業等と連携し、地域づくり、福祉、教育、防災分野の更なる充実を図ってまいります。また、子育て支援として開設された「こども家庭センターこそだち」を軸に、安心して相談できる体制を拡充するとともに、学校施設への空調設備設置や幼保小中の給食費無償化等、物価高騰下における子育て世代への支援を継続・拡充してまいります。

町では「みんなでつくろう日の出町」を合言葉に『活力ある地域づくり』『災害に強いまちづくり』『子育て・教育支援』『福祉のまちづくり』『持続可能な行財政運営』の視点を持ちながら、町民の暮らしに寄り添い、「日の出町に住んでよかった」と思える未来を見据えた施策を着実に推進してまいります。

このたび、合併 70 周年・町制施行 50 周年を記念し、発行するこの町勢要覧により日の出町の概要をご理解いただければ幸いと存じます。

結びに、日の出町の限りない繁栄と町民の皆さまのご健康を祈念して、発行のご挨拶と致します。

日の出町長 東 亨
ひがし とおる

東京都日の出町 町勢要覧 2025

CONTENTS

町長あいさつ

巻頭特集

1. 活気あふれる日の出町	2
2. 日の出町の「近年の出来事」	6
3. 移住定住	10

みんなでつくろう日の出町

1. 子ども・教育	12
2. 健康・福祉・共生社会	14
3. 文化・スポーツ	16
4. 生活・環境・安全安心	18
5. 産業振興	20
6. 持続可能な行財政運営	22

行政・議会

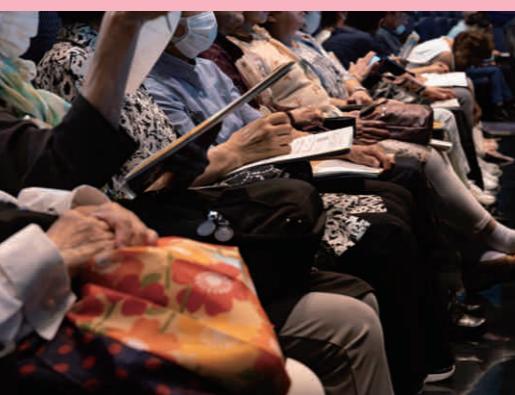
日の出町のイベント・歳時記	25
日の出町の歴史	28
データでみる日の出町(資料・統計)	32
日の出町イラストマップ	34



巻頭特集1 活気あふれる日の出町

さまざまな世代がいきいきと過ごす 「活気ある日の出町」の取り組み

幅広い世代の町民に向けて、さまざまなイベントや施策を行っている日の出町。町民の皆さまが楽しみながら参加できるイベントや子どもたちの成長を支える施策まで、その取り組みは多彩です。



これからも人生を楽しむ

シニアはつらつ事業

「シニアはつらつシネマの集い」は、2023年にスタート。日の出町と日の出町社会福祉協議会の共催で行われ、毎年65歳以上の町民の皆さまを招待し、イオンシネマ日の出で開催しています。2024年は町制施行50周年記念事業の一環として開催。また、町長、社会福祉協議会会长、町議会議長と記念撮影を行う「シニアはつらつ撮影会」（実施時点で、満77歳、満88歳、満99歳、満100歳の町民対象）も行われています。

「広報誌で開催を知って参加しました。普段買い物に来ている場所なので、気軽に参加できるところがいいですね」

「昨年に続いて2回目の参加です！今回は友人にも声をかけ、一緒に参加しました。来年はどんな作品が上映されるか楽しみです」



「シニアはつらつ撮影会」の様子をご覧いただけます

「シニアはつらつシネマの集い」では、別日に日の出町役場で開催された「シニアはつらつ撮影会」の様子を記録した動画も放映されました。撮影会の様子は、「東京都日の出町公式動画チャンネル」でもご覧いただけます。



東京都日の出町
公式動画チャンネル

子どもたちの健康と成長を見守る

子育て支援事業

日の出町
こども家庭センター
「こそだち」

0～18歳未満の子どもとそのご家族に向けた相談窓口として、来所はもちろん訪問や電話でも対応しています。特に乳幼児の子育て支援として、作業療法士や保育士による子どもの心身の成長を促す遊びや離乳食などの食育指導を行う「こそだち教室」や、保護者同士の交流の場づくりのための「ママさんヨガ」、「子育てサロン」といったイベントも定期的に実施しています。



子育て世代を支える取り組み

日の出町在住の方に向けた独自の子育て支援金があります。

未来わくわく支援金 交付額 子ども1人につき月額 **5,000円**

未来旅立ち支援金 中学校を卒業する子どもに対して1人につき **10万円**

ひのでっ子ぱくぱく給食応援補助金 町内保育園に通う3歳児～5歳児の子どもにかかる副食費を **無償化**

給食
無償化

食育の充実を目的に、2024年10月1日から日の出町立小・中学校の学校給食費が無償化されました。子どもたちに安全でおいしい給食を安定して届けることで、心身の健康と成長を支えます。



新たな教育支援の一環として、給食費の無償化がスタート。

食育への
取り組み

「食の専門家」である日の出町学校給食センターの栄養士による、食育の授業を町立小・中学校各校で実施。身近な食材への興味や、栄養バランスの大切さなどを伝えています。



栄養士による食育授業の様子。

記念献立

合併70周年・町制施行50周年を記念し、50年前の給食を再現。当時の味を振り返りながら、変わらぬ思いで子どもたちの健やかな成長を支え続けます。



懐かしの給食メニューを再現。当時はパンが主流だった。

町をあげての祭典！

ひのでスポーツフェスティバル



2022年から始まった「ひのでスポーツフェスティバル」は、老いも若きも一緒にスポーツを楽しむ「日の出町ならでは」のイベント。隔年10月に行われているこのイベントは、町民の皆さまの交流と親睦の場となっています。亜細亞大学日の出キャンパスのグラウンドで開催されており、官民連携事業のひとつでもあります。



① 約300人が集った「ひのでスポーツフェスティバル2024」。「大玉送り」では世代を超えて競技を楽しむ姿が見られました。
② 二人三脚など、親子で参加できる競技も。③ ニュースポーツ「ラダーゲッター」の体験コーナー。



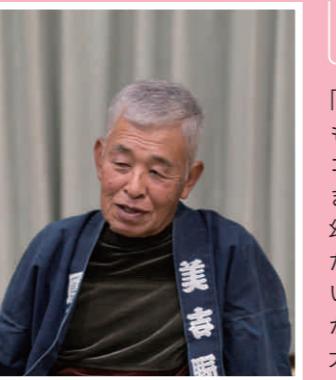
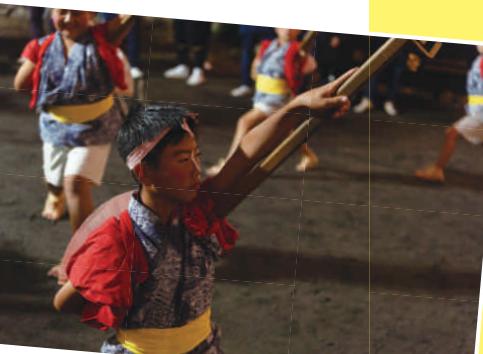
「NPO法人日の出町スポーツ協会」会長 森谷 幸二さん

「ひのでスポーツフェスティバル」は町民同士の親睦交流の場として意義ある取り組みとして評価されています。連携している亜細亞大学との関係も深まり、学内スポーツジムの町民利用も可能になったことで地域とのつながりがより良くなっています。今後は、日の出町教育委員会、日の出町スポーツ協会（各競技団体）など、地域で活躍する団体と連携し、誰もが参加できる楽しいイベントとして町民の健康増進の機会にしていきたいと考えています。

2022年にユネスコ無形文化遺産に登録

「下平井の鳳凰の舞」

下平井の鳳凰の舞は、2006年に国の重要無形民俗文化財に指定され、2022年には「風流踊」のひとつとしてユネスコ無形文化遺産に登録されました。下平井地区に伝わる民俗芸能で、古くは雨乞いや悪疫退散を願って舞ったといわれています。江戸の要素を含む「奴の舞」と、上方の要素を含む「鳳凰の舞」の二庭で構成されており、鳳凰の冠や踊り方などは全国的に珍しいものになります。



「鳳凰の舞保存会」会長 長田 勝雄さん

「鳳凰の舞」は数多くの日本の民俗芸能の中でも類を見ない珍しい特色があります。それがユネスコ無形文化遺産「風流踊」のひとつに選ばれ、大きな喜びを感じました。私自身、下平井に生まれ、幼い頃から鳳凰の舞を踊ることが人生の一部でした。日の出町に伝わる貴重な文化ですが、年々担い手が減ってきているのも事実です。伝統を守りながら、地域で継承していくことが大事です。時代の流れと共に存して、老若男女問わず力を合わせて保存会を残していくなら嬉しいです。これからも「地域のつながり」の象徴、「地域の心」として、皆で大切に受け継いでいきたいです。

① 子どもたちが扇と木刀を持って披露する「奴の舞」。②③「鳳凰の舞」は、毎年9月29日に近い土日に春日神社で行われる例大祭で披露。④鳳凰の舞で使用される太鼓や鳳凰の冠。万燈つくりは地域住民の方々が寄り合って行います。⑤「鳳凰の舞」では、鳳凰、さら、軍配、小太鼓など計10名が勇壮な舞を披露。「奴の舞」を踊っていた子どもたちが成長して舞うことも。

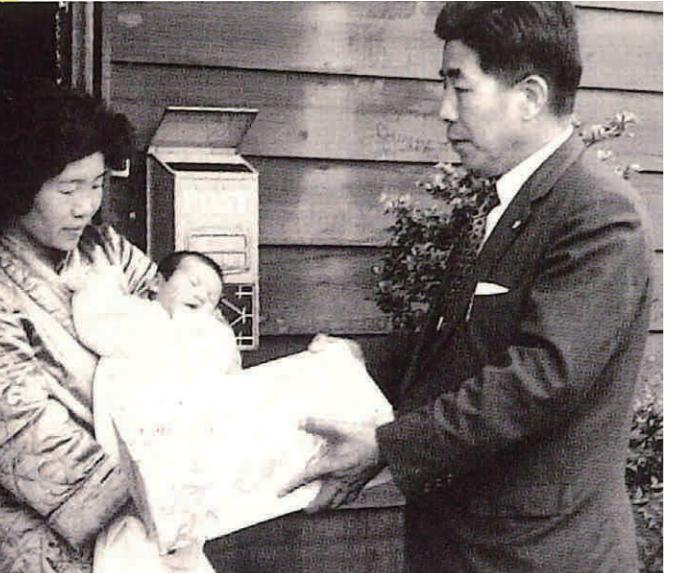


卷頭特集 2 日の出町の「近年の出来事」①

日の出町合併 70 周年、町制施行 50 周年！

躍進を続ける日の出町の「今」をお届け

2024 年に町制 50 年、さらに 2025 年の 6 月 1 日には合併 70 年を迎えたことから、さまざまな記念事業が行われました。



① 人口 1 万人突破を報じた当時の広報には、美香さんを抱く、たか子さんの姿が。② 町役場の職員が森岩さん宅を訪問、当時を再現してパチリ。③ 森岩晴美さん御一家。写真左から美香さん、たか子さん、晴美さん。④ 当時、村から贈られた記念品の置き時計。裏面には「日の出村人口壱万人達成記念」の文字。

町制施行 50 周年を記念

人口 1 万人目の村民を再訪

大久野村と平井村が合併し、1973 年に人口が 1 万人を突破したことを機に町制施行への気運が高まり、翌 1974 年 6 月 1 日に日の出町が誕生しました。そのきっかけとなった「1 万人目の村民」が、森岩晴美さん・たか子さんご夫妻の次女 美香さん。当時、「地域住人がこぞって『1 万人目の村民』を狙っていました。出生届を出しに行くと、役所の方がみんなで拍手をしてくださいました」と晴美さん。「小学生の頃、社会科の先生が授業で『1 万人目の村民』のことを取り上げてくださって、学年中の有名人になりました」と美香さん。「当時はもっと自然が豊かで、そんな環境を求めて引っ越してくる人が多かったですね」とたか子さん。懐かしく当時を振り返っていただきました。

日の出町合併 70 周年記念

ロゴ & キャッチフレーズが決定

合併 70 年を記念し、日の出町立小・中学校の高学年児童、生徒を対象に、日の出町合併 70 周年記念プレ事業「あなたが思い描く日の出町の未来 日の出町の魅力を生かした素敵なまちづくりキャッチフレーズ&ロゴマークコンクール」を開催。想像力あふれる素敵な作品が数多く寄せられました。

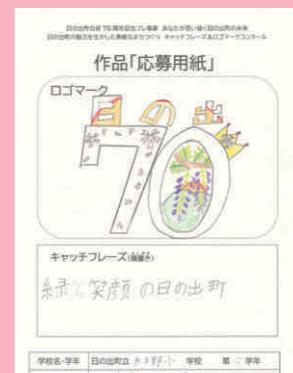
日の出町立平井小学校 6 年生
山崎 浩之助さん（2024 年当時）
きらり賞



自然と共に存していく日の出町の未来へ

2024 年 10 月に開催された「第 36 回日の出町産業まつり」で、日の出町合併 70 周年を記念したロゴとキャッチフレーズの発表会を開催。会では、作品に込めた山崎さんの思いが披露されました。

そのほかの受賞作品

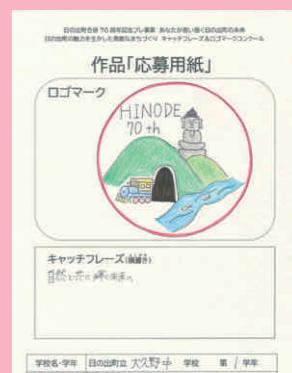
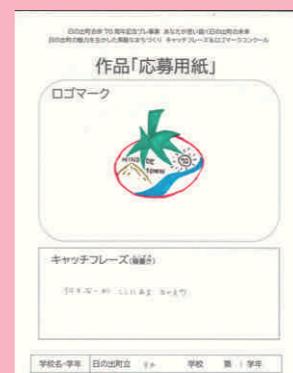


小学校ひのでちゃん賞
下川 よしのさん
本宿小学校 5 年生

小学校ひのでちゃん賞
井上 凧介さん
平井小学校 5 年生

小学校ひのでちゃん賞
山本 晴さん
大久野小学校 5 年生

小学校ウェルビーリング賞
田中 來玲葉さん
平井小学校 6 年生



中学校ひのでちゃん賞
下川 ことのさん
平井中学校 3 年生

中学校ひのでちゃん賞
松坂 有彩さん
大久野中学校 2 年生

中学校ひのでちゃん賞
野口 一華さん
平井中学校 1 年生

中学校ウェルビーリング賞
関根 圭佑さん
大久野中学校 1 年生

日の出町の「近年の出来事」② 民間との連携も充実

／＼大学生と町の子どもたちとの交流も！／＼

亞細亞大学との包括連携協定

2016年4月に包括的協働・連携協力に関する協定を締結した亞細亞大学とは、多彩な交流を通して「人材育成と地域社会発展」を目的とした取り組みを行っています。また、町制50周年を記念して開催された、「ひのでスポーツフェスティバル2024」の会場提供や大学生の参加、「日の出町産業まつり」などのイベント開催時の協力など、さまざまな連携を行っています。

スポーツを通じての交流

亞細亞大学日の出キャンパスの施設を利用し、年齢や障がいの有無を問わず楽しめる「モルック」などのニュースポーツ体験会や人気スポーツの体験会を、町内の小・中学生を対象に行っています。



サッカーやテニスといった、子どもに人気のスポーツを体験する「ジュニアスポーツ教室」も。

学びを通しての交流

「出会い・ふれあい・学びあい」をテーマに、町民の皆さまの余暇の充実と生涯学習の機会として、同大学で「日の出町民大学」を開催しています。



フレイル予防から世界情勢を知る講座まで幅広い知識が得られると好評。

／＼さまざまな連携イベントを開催！／＼

イオンモール株式会社との包括連携協定

2022年10月、日の出町とイオンモール株式会社との「包括的連携に関する協定」が結ばれました。協働・官民連携の取り組みのひとつで、子育て・教育など8つの分野で相互連携を生かしたイベントなどを行っています。

防災を考える
きっかけに



さらに
訪れやすく



自衛隊防災フェス 2025 in イオンモール日の出

発育
相談も



社会と
つながる！



はじめての大運動会!! 赤ちゃんハイハイ一す

ひのでカフェ @イオンモール日の出

認知症の患者さんやその家族、支援に関わるすべての方を対象とした情報交換の場「ひのでカフェ」は、イオンモール日の出2Fスター・バックスコーヒーで年2回開催。

この他、2024年9月に日の出町と西武信用金庫との「包括的連携・協力に関する協定」を締結しています。

卷頭特集3 移住定住

自然豊かな町の魅力やさまざまな支援を広く周知し 他エリアからの移住定住を促進しています

豊かな自然、都心からの程よい立地といった町の魅力はもちろん、子育て支援や高齢者支援、創業支援、新規就農者支援や空き家利活用など、日の出町では移住定住促進のためにさまざまな支援を行っています。

新規就農者支援

農業に挑戦する人を温かく迎え入れる体制と環境

日の出町と周辺に広がる約3,900坪の畠で、サツマイモやトウモロコシ、ジャガイモ、ブロックリーなど多彩な作物を育てる木住野一樹さん。収穫した野菜は「日の出町ふれあい農産物直売所」などに並び、地域の暮らしを支えています。東京農業アカデミーでの研修を経て2023年に就農した新たな担い手です。

しかしながら、日の出町の若手農業者は数えるほどしかおらず、地元出身で農業を志す人も多くはありません。けれども農業委員会や振興委員会をはじめ、町全体が新たな担い手を歓迎する体制を整えており、実際に「担い手の会」の半数は町外から移住してきた農家で構成されています。「農業を始めたい方が日の出町に来てくれると思強い」と木住野さん。豊かな自然と新規就農者を温かく迎え入れる日の出町は、移住して農業に挑戦する人にとって大きな可能性を秘めたフィールドです。



新規就農者 木住野 一樹さん

木住野さんが生産の主とするサツマイモは、少ない肥料でも育つ環境にやさしい野菜で、収穫後に寝かせることで甘みが増し味わい深くなります。アカデミー以前に加賀野菜というブランド野菜が有名な石川県で働きながら勉強しており、五郎島金時というサツマイモを育てたこともあるそう。



子育て世代の移住定住を促進

子どもがのびのび元気でいられる町で、子育てを！

日の出町では、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援として、さまざまな補助金や助成金のほか、子育て家庭が安心して子どもを産み育てることができる環境的支援にも取り組んでいます。また、移住の際の住まいや仕事に関する支援も行い、他のエリアからの子育て世代の移住定住を促進しています。

移住者の声

子育て支援の充実も移住の決め手に

子育て世帯に嬉しい制度が充実している点が魅力です。医療費の助成制度や、毎月5,000円支給される「未来わくわく支援金」など、家計をサポートしてくれる支援は助かります。

子どもが「自然」と遊ぶ毎日！

豊かな自然と、自然保育を実践する幼稚園があることが決め手でした。もっと不便な暮らしを想像していましたが、都心へのアクセスも良く、生き生きと過ごす子どもの姿を見るにつれ、移住は正解だったと感じています。



2021年移住 岡崎駿人さん、七生さん御一家

自然豊かな観光資源、利便性の向上

移住定住に適した「日の出町」の生活環境や風土

リニューアルしたコミュニティバスの運行や豊かな自然環境を生かした娯楽スポットなど、日の出町には移住定住に適した環境が整っています。



「自然」が遊び場！

緑豊かな観光スポット

豊かな自然環境を生かした観光地や施設が点在する日の出町。釣った魚がその場で食べられる「自然休暇村 さかな園」など、週末のお出かけスポットとして町内外から多くの人が訪れます。

新しい町民の「足」

ぐるり～ん ひのでちゃん

2022年から運行がスタートしたコミュニティバス「ぐるり～ん ひのでちゃん」は、「長井折返場」から「阿伎留医療センター」を結んでいます。乗車は1回100円(土日・祝も運行)。

みんなでつくる日の出町

1 子ども・教育

共に学び、支え合い、みんなで創る日の出町の教育

日の出町教育ビジョン2023

「日の出町教育ビジョン2023」は、第5次日の出町長期総合計画（後期基本計画・令和2年度～令和7年度）及び国の次期教育振興基本計画の策定状況を踏まえ、策定されました。

日の出町の教育振興のための基本方針

- 「かかわり」と「つながり」を大切にした教育
- 相互承認と多様性の尊重に基づく「協働」を大切にした教育
- 「学びの循環」を大切にした教育

取り組みの方向性

- 子どものしあわせづくりとまちの魅力を生かした学校づくり
- 家庭・地域・学校のつながりを重視した取り組みの推進
- 安全・安心で質の高い学びを実現する学校施設及び社会教育施設等の環境整備
- 社会教育、文化・スポーツ活動を通して生涯にわたって、共に学び、支え合う地域づくり

教育行政の今後の展開

- 一人ひとりを重要な教育の担い手とする社会総がかりの教育風土づくり
- 教育の展開を通じた協働の広がりと地域コミュニティの一体感の醸成
- 行政の横断的なつながりを重視した施策展開

日の出町教育ビジョン2023 さまざまな取り組み



GIGAスクール

情報教育やICTを活用した授業改善を目的に、町立小学校では2021年度からひとり1台のタブレット端末を配備。



ALT (外国人指導員)による授業

外国語や外国語活動の充実のため、小学校3年生からALT (外国人指導員)による授業を実施しています。



放課後子ども教室

学校の空き教室などを利用し、工作・ゲーム・読み聞かせ・運動などの活動を、地域住民の参加・協力を得て行っています。



共に生きる

~高齢者が暮らしやすいまちを目指して~町内の小学校2校で、東京大学大学院と共同開発した高齢者理解のための教育プログラムを実践しています。



夏休み料理教室

小学校5・6年生を対象に、給食センターの栄養士・調理師が指導。給食メニューを再現する料理教室です。



親子リトミック

生後6ヵ月～未就学児の親子向け教室。楽器演奏や工作を楽しむことも。



3歳児健診

乳幼児健診を実施し、子どもたちの健やかな成長をサポートしています。



志茂町児童館「子どもフェス」

児童館では、子どもたちが主役のイベントを定期的に実施。毎回多くの子どもたちが参加します。

未来を担う子どもたち



日の出町立平井中学校
1年生
あおやぎ
青柳 賢史 さん



理科の授業で理解できることがとても楽しい!

2025年、東京たま未来メッセで開催された東京都小学生科学展に、当時の日の出町立平井小学校6年生の代表として出場した青柳さん。元々理科が好きだったことから、箱根の黒卵を見て酸性の働きに興味を持ったそうで、夏休みの宿題に卵をお酢につけ「卵はどう変わるかな」という自由研究のテーマの実験・研究結果を発表しました。日の出町の魅力は、「みんなが挨拶をしてくれる、優しいまちなところです」



日の出町立平井中学校
3年生
坂田 杏 さん



夢はオリンピック選手になること!

2025年に、たけびレースタジアム京都で開催された「皇后杯第43回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会」に東京都の代表選手として出場し、第3区を担当した坂田さん。3人兄弟の末っ子で負けず嫌いの性格から、1日も欠かさず走り込みをしているそう。あきる野市の中学校の陸上部と合同で、日々長距離の練習を重ねています。走ることが好きな坂田さんの目標は、オリンピック選手になること。

2 健康・福祉・共生社会



本宿老人福祉センター



平井・生涯青春ふれあい総合福祉センター



大久野老人福祉センター



大久野健康いきいきセンター

老人福祉センター いきいきセンター

高齢者の生きがいづくりや健康増進のための取り組みを行う拠点として、町内に4ヵ所の老人福祉センターなどを開設しています。生活相談や健康相談窓口の設置、生涯学習の機会を提供する催しの開催をはじめ、天然温泉を楽しめる入浴サービス（大久野老人福祉センターのみ人工温泉）も好評です。

日の出町高齢者医療費助成制度（75歳以上の方対象）

「お年寄りに優しい3つの福祉施策」（2009年4月施行）のひとつで、後期高齢者医療の被保険者の方々が本来負担する医療費の一部を、日の出町が助成する制度です。

令和6年度より制度が見直されました

2024年4月1日の診療分から、1ヶ月あたりの助成額に5,000円の上限額が設定され、上限額を超える医療費は自己負担となりました。また、助成の停止要件である町税などの滞納判定期間を前年度賦課以前2年間から前年度賦課以前に変更しています。

新制度について

1 カ月の医療費自己負担額が…

【4,000円の場合】

上限額 5,000円未満のため、
4,000円を助成

【6,000円の場合】

上限額 5,000円以上のため、
上限額 5,000円を助成

シニアライフのサポート



てんこつ（転倒骨折）
予防体操教室

筋力強化や歩行能力の維持のために、専任のインストラクターと共にストレッチ、リズム体操を行います（無料）。大久野健康いきいきセンターにて登録制で実施されています。



介護予防教室

イスに座って行う「はつらつクラス」と、立って行う「いきいきクラス」があり、運動指導員による簡単な手足の運動指導や脳活性トレーニング、血圧測定などを行います。

おでかけ支援 「ドリームカー」



歩行が困難で公共交通機関の利用ができない65歳以上の町民の方などを対象とした、外出支援のための車両です。



高齢者
外出支援バス

おおむね60歳以上（在宅に限る）の方に向け、病院や町役場、各老人福祉センターなどを巡る4つのルートで運行。

障がい者サポート



日の出町ユートピアサンホーム（地域活動支援センター）

地域活動支援センターは社会交流支援の場として利用されています。「日の出町ユートピアサンホーム」は知的に障害のある方の支援を、「日の出町ユートピアひまわりホーム」は精神障がいの方の支援をしています。

障がい者施設（4施設）

- 日の出太陽の家
- 日の出福祉園 など

障がい者グループホーム（12施設）

- ケアホーム太陽さくら園
- グループホームもみの木 など

地域活動支援センター（2施設）

- 日の出町ユートピアサンホーム
- 日の出町ユートピアひまわりホーム

3 文化・スポーツ

日の出町「秋の二大文化祭」

日の出町文化団体連盟を中心に毎年11月に開催される2つの行事は「秋の二大文化祭」と呼ばれています。毎年、多くの町民の皆さまが参加し、鑑賞に訪れます。

歌と踊りと文化の祭典

和太鼓や二胡、大正琴、民謡、ピアノ、尺八、フラダンス、バンド演奏など、町内のさまざまな団体や個人によるパフォーマンス発表の場として開催される「歌と踊りと文化の祭典」。日頃の練習の成果を披露する場にもなっています。



町民文化祭

2日間にわたって開催される「町民文化祭」では、書道・絵画・写真・彫刻・ちぎり絵・工芸品・手芸品、写真など、町民の皆さまによる多くの作品が展示されます。また、手芸品などの販売ブースやお茶席なども催されます。



受け継がれる民俗芸能

日の出町には文化財としても価値のある伝統的な民俗芸能が数多く存在し、地域や保存会の皆さまによって守られ、受け継がれています。

玉の内の獅子舞

大久野玉の内地区で伝承されている「風祭獅子舞」は雨乞獅子とも呼ばれ、日の出町の無形民俗文化財に指定されています。毎年8月、3体の獅子が三嶋神社や自治会館の庭場（獅子舞を舞う場所）を巡り、7つの舞を披露します。



日の出町の祭り囃子

町には、「重松流祭り囃子」、「神田囃子」、「目黒流祭り囃子」の3つの流派の祭り囃子があります。それぞれ特徴があり、秋には各地域の例大祭でテンポの良い音色が披露されます。



ボッチャひのでちゃんカップ

ボッチャはヨーロッパで生まれた障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。誰でも手軽にでき、幼児から高齢者、障害に関係なく楽しめます。令和元年度からひのでちゃんカップを開催し、たくさんの方に楽しんでいただいています。



4 生活・環境・安全安心



消防団 ポンプ操法審査会

消防団員の日頃の訓練の成果を披露する「ポンプ操法審査会」は、隔年6月に実施。小型動力ポンプや自動車ポンプでの消火活動の迅速さや確実さを競います。本部分団と第1～4分団の団員約124名が参加するこの会では、多くの町民が見学に訪れ声援を送ります。普段は別の仕事に従事しながら、有事には消防団員として活動する団員の方々は火災時の消防活動や防災訓練はもちろん、地域イベントでの警備活動を行うなど、町の安全・安心に欠かせない存在です。



- ①ポンプ車の部、小型ポンプ車の部で、それぞれの技術を競います。②秋川消防少年団の子どもたちによるAEDを使った救命訓練。
③競技中は真剣そのものだった団員の皆さんも、表彰式では笑顔に。



日の出町女性消防隊

日の出町消防団の支援団体として、1994年に誕生した「日の出町女性消防隊」。現在は4名で編成され、住民への防火・防災指導や啓発を中心に活動を行っています。全隊員が上級救命資格を有し、非常時にも迅速に対応します。

総合防災訓練



自治会、消防団などの防災に関する機関が連携し、組織の垣根を越えた町民参加型の防災訓練を実施しています。過去の大災害時の教訓を生かし、まち全体で防災への意識を高めます。

児童輸送用車両「レインボーカー」



町内の3つの小学校の1年生を対象に、安全な登下校の送迎をする児童輸送車両「レインボーカー」の運行を2006年から実施。通学距離などを考慮し、毎年30人ほどの登下校をサポートしています。

ごみゼロ町内環境美化一斉清掃



毎年5月30日(ごみゼロの日)付近の週末に町内一斉清掃を実施。自治会を通じて約3,000人の住民がボランティアで参加します。亞細亞大学の学生やクラブチームの方々も参加し、地域環境美化を推進しています。

防犯パトロール



有志の方々による防犯パトロールは、各自治会で行われています。特殊詐欺や空き巣被害などの防止、子どもたちの通学時間帯や夜間の見守りなど、住民の安全安心のためのパトロールです。

防犯協会



防犯協会では「防犯のまちづくりの普及・啓蒙」を目的に活動。特殊詐欺などの被害増加を受け、道ゆく方々に家族や地域ぐるみでの防犯対策を呼びかけるキャンペーンの実施などに取り組んでいます。

交通安全協会



毎月定められている「交通安全日」に実施されている道路交差点での交通ルール厳守の呼びかけや交通安全キャンペーン、町のイベントなどで交通整理など、さまざまなシーンで活躍しています。

5 産業振興

ひので朝市



商工会メンバーが実行委員となり開催している「ひので朝市」は、町内の飲食店や商店10店舗以上が参加する即売会。手頃な値段での販売に加え、朝市だけの商品の販売や抽選会の開催など来場者を楽しませる仕組みも盛りだくさんで、毎回多くの人が賑わいます。



魅力的な観光スポット

日の出町には魅力的な観光スポットが多く、地元の商業を盛り立てる一助となっています。



白岩の滝

日の出町の名瀑。周辺はハイキングコースとしても人気です。



自然休暇村 さかな園

渓流釣りやマスのつかみ取りで獲った魚は、焼いて食べることができます。



生涯青春の湯 ひので三ツ沢つるつる温泉

美肌の湯として知られる、アルカリ性単純温泉が楽しめる日帰り温泉施設。



鹿野大佛

塩澤山寶光寺境内に建立された、高さ約12メートルの青銅製の像。



日出山莊

1983年に日米首脳会談が開催された中曾根康弘元内閣総理大臣の別荘。現在は一般公開されています。



日の出町商工会会長 原田 輝和さん

商工会では、観光協会や行政と連携しながら日の出町の商業や観光を盛り上げています。日の出町の「商工会活性化事業補助金」を活用し、町の三大祭り（産業まつり、桜まつり、夏まつり）で集客のための遊具などを設置したエリアを設けたり、商工会加入店の従業員への福利厚生として健康診断の費用補助を行うなど、さまざまな角度から町の商業・観光を支えています。私自身はフェラーリで牽引する石焼き芋屋「すーぱーかーやきいも」の代表としてメディアに出演し、日の出町の認知度向上のためのPR活動を積極的に行ってています。

日の出町ふれあい農産物直売所



日の出町の特産品のひとつであるトマトは、人気商品。多くの方が手に取ります。

日の出町ふれあい農産物直売所

地元農家の方々が育てた新鮮な野菜や卵が所狭しと並び、開店と同時に多くの買い物客で賑わいます。地元生産者による旬の野菜や花卉、ケチャップやジャムなどの加工品なども販売しています。

日の出町の農業の取り組み

農業委員会×認定農業者・新規就農者×農業振興委員会
担い手の会「日の出ライジング・サンズ」



2022年に発足した若手農業者の組織。生産技術の向上や遊休農地の活用、特産品づくりに取り組んでいます。

日の出町産メンマプロジェクト

「日の出ライジング・サンズ」では、持続可能な農業を目指し、地域資源を活用した取り組みを展開しています。町内の竹林は担い手不足などにより管理が行き届かず、獣害や地滑り、火災延焼といったリスクを抱えています。そこで出荷時期を逃した幼竹を収穫し、塩漬けや味付けを経てメンマに商品化。これによりこれまで利用価値のなかった幼竹を特産品の原料とし、新たな収入源の確保や環境保全につなげています。



農業委員会×食育事業
幼保育園児による大根栽培体験



町内の1幼稚園、5保育園で行われている大根の栽培体験は、10年以上続く恒例行事となっています。子どもたちが種まきを行った大根は11月に収穫され、各家庭の食卓に並びます。

日の出町農業委員会会長 野口 隆昭さん



日の出町農業委員会では農地の保全や違法転用の取り締まり、一般農家の耕作や販売の助言を行っています。また、山間部に点在している農地の集積を進めることで、移動時間の短縮や機械化を促進し、より効率的に農作業に従事できるよう取り組んでいます。町外からの新規就農者の移住促進も積極的に行っており、住まいの確保をはじめ、農作物の出荷時に必要な作業場建設の検討、洗浄機などの農機具を設置することで就農へのハードルを下げる試みなど、他の自治体では類を見ない日の出町ならではの取り組みも行っています。

6 持続可能な行財政運営

日の出町では、社会情勢の変化に合わせ「日の出町行政改革大綱」を見直すと共に、実効性が高く持続可能な行政サービスの構築に向け、事務事業全般にわたって見直しを図るべく、令和5年度から令和9年度までの5年間を推進期間とする「日の出町行政改革（その5）」を策定しました。

日の出町行政改革大綱

基本方針

- 多様化する住民ニーズに的確に対応し、活力ある地域社会の創造と住民福祉の増進を図るため、最少の経費で最大の効果をもたらす効率的な行財政の運営を行います。
- 基本構想に立脚したまちづくりの諸施策を具現化するため、既定の事務分掌や組織機構などについて弾力的な見直しを図り、政策形成及びその執行体制を再構築します。
- 行政改革の推進にあたっては「日の出町行政改革懇談会」の意見を踏まえ、町議会と連携しつつ町民をはじめ関係機関の理解と協力を得ながら、行政改革推進本部のもと全庁をあげて取り組みます。
- 行政改革大綱の取り組みにあたっては基本方針に基づき、具体的な内容を明らかにすることにより計画的な推進に努め、必要に応じて計画の進捗状況等を関連機関に付し進行管理の一助としていきます。

DX 推進の取り組み

インターネットから公共施設の利用申請ができます

「日の出町公共施設予約システム」では、町内の公共施設の空き状況の確認、予約・抽選申し込みを行うことができます。空き状況の確認はどなたでも、予約・抽選申し込みには事前に利用者登録が必要です。

日の出町やまびこホール
日の出町本宿地区
学習等供用施設



スポーツと文化の森
谷戸沢サッカー場



塩田テニス場



スポーツパーク
やすらぎと
ふれあいの丘テニス場



学校施設もご利用いただけます

大久野小学校、平井小学校、本宿小学校
大久野中学校、平井中学校

スポーツと文化の森
谷戸沢サッカー場



塩田テニス場



スポーツパーク
やすらぎと
ふれあいの丘テニス場



スポーツと文化の森
谷戸沢グランド



町民グランド



行政改革の柱

1 合理的・効率的な行政運営の推進

日本の人口は、2040年頃には総人口が毎年100万人近く減少し、自治体の税収や行政需要に極めて大きな影響を与えると危惧されています。本格的な人口減少と高齢化により自治体の経営資源が制約される中、住民の暮らしと地域経済を守るために、人口増加を前提としていた制度や運用を見直し合理化・効率化を実現することで、持続可能な行政サービスを提供していきます。

3 事務事業の見直しと充実

少子高齢化や人口減少をはじめ、社会のデジタル化や自然災害対応など社会情勢が大きく変化しています。また、日の出町特有の情勢として、東京たま広域資源循環組合からの地域振興費が協定に基づき令和4年度から段階的に減少することとなり、歳入構造にも変化が生じています。日の出町を取り巻く環境の変化に対応すべく、既存の事務事業全般の再点検を行い、時代に即した行政サービスの提供・行財政運営となるよう見直しと充実を図っています。

5 DX の推進

国において、令和2年12月「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が決定され、デジタル社会が目指すべきビジョンが示されました。自治体においては、「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の中で、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容がまとめられたところです。しかしながら、先進的な分野であり、自治体ごとの最適解も異なることから、DXの本来の目的を見失うことなく、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」というビジョンを中心に据え、費用対効果を冷静に検討しながら、町の規模や状況に合わせた着実な推進を図っていきます。

2 持続可能な財政運営の構築

生産年齢人口の減少に伴い、歳入の根幹をなす税収の減少が見込まれます。一方、歳出においては高齢化に伴う社会保障関連経費の増や公共施設の老朽化に伴う修繕費の増に加え、新たな行政需要への対応も必要となっていきます。事業評価に基づく適切な予算配分を実現すると共に、公平性の観点から補助金・交付金・使用料の適正化を図り、持続可能な財政運営を行っていきます。

4 組織・人事管理の改革

人口縮減社会にあって自治体行政における労働力も不足する一方、新たな社会的需要も生まれ、自治体に求められる役割は複雑化・多様化しています。持続可能な行政サービスを提供していくため、限られた人的資源の配分と実効性の高い組織体制の実現を図ると共に、労働力不足による機能不全の克服に向けた職員の資質向上・意識改革に取り組んでいきます。

6 協働のまちづくり

近い将来、人口減少と高齢化により、公共私それぞれの暮らしを支える機能が低下することが危惧されています。暮らしを支えていくため、自治体は新しい公共私相互間の協力関係の構築を検討・推進していく必要があります。また、気候変動やジェンダー平等、空き家対策など、新たな社会的需要も生じてきており、限られた資源（ヒト・モノ・カネ）を適切に再配分しながら、時代に即した行政サービスを提供していきます。

電子母子健康手帳「日の出町おやこ手帳」

「母子健康手帳 機能」と「子育て支援 機能」を組み合わせた、「日の出町おやこ手帳」の運用を開始しました。外出先でもお手元のスマートフォンで、町からの子育て関連情報の確認、健診・イベントの予約などができる、窓口の開庁時間に合わせたお問い合わせや電話予約の手間を省くことで、子育て家庭の負担を軽減します。



詳細は[こちら](#)をご覧ください

主な機能

母子手帳記録	母子手帳の記録をお手持ちのスマートフォンで管理できます
情報検索	日の出町の子育てお役立ち情報を検索することができます
医療機関検索	子どもの予防接種を受けられる医療機関や、接種可能な予防接種を検索することができます
施設検索	日の出町の保育園・幼稚園・児童館・学童など、子育てに関する施設を検索することができます
イベント検索	子どもの健診、教室、イベントの実施日程、内容を検索することができます
オンライン予約	子どもの健診、教室、イベントの予約をお手持ちのスマートフォンですることができます

まちづくりの中核を担う「町役場」

行政

行政では、各種手続きを行う窓口業務をはじめ、住民の皆さまの生活をサポートする、さまざまなサービスや取り組みを行っています。



町民の皆さんと共に

日の出町を「より良いまち」に

日の出町では、まちの発展と住民福祉、産業振興、子育てや教育、文化・スポーツの振興、防犯・防災対策などに力を入れ、行政と町民の皆さまとの協働により、より暮らしやすい日の出町の創出に努めています。

町民の皆さまの声を、町政へ

議会

選出された14名の議員によって、行政に関わる数多くの事項を審議・決議しています。



議員で構成された常任委員会では、町民の皆さまからの請願や陳情内容の審査、調査活動を実施。

日々町政の諸問題に向き合っています。

日の出町議会の録画映像をインターネットで配信中

議会の日程や会議名、議員名、会派名などで映像を検索することができます。



日の出町議会映像
インターネット配信

日の出町の

イベント・歳時記

日の出町では町民の皆さまが中心となり、一年を通してさまざまな行事が行われています。

地域の特性を生かした催しや季節の恒例行事など、暮らしを彩るイベントが盛りだくさんです。



<ひので桜まつり>

毎年、桜がほころび始める4月初旬に開催されます。平井川沿いの桜並木がライトアップされ、町民グラウンドではステージでのさまざまな催しをはじめ、キッチンカー、模擬店も多数出店します。
(関連ページ→20ページ)



<竹の子狩り>

4月初旬～5月中旬頃まで、大久野地区にある多くの竹の子農園で竹の子狩りが楽しめます。その年によって収穫量に差があるため、お出かけの際は日の出町観光協会にお問い合わせください。



夏



<ひので夏まつり>

7月に開催されている「ひので夏まつり」では、盆踊りのほか神輿や鳳凰の舞、お囃子など地域の伝統芸能が披露され、多くの模擬店で賑わいます。終盤は1,000発の花火が夏の夜空を彩ります。



<平井の祭り>

平井地区にある春日神社、八幡神社で行われ、総称して「平井の祭り」と呼ばれています。特に春日神社での全国的に有名な「下平井の鳳凰の舞」は必見。また、5基の山車が町中で競り合う様子は圧巻です。(関連ページ→5ページ)



<日の出町産業まつり>

「町民と産業のふれあい」をテーマに、毎年10月に開催。日の出町の農作物や特産品の販売、ステージでのショーが行われ、毎年多くの人が集まります。(関連ページ→9ページ)



<ひのでスポーツフェスティバル>

町民の皆さまがスポーツに親しみ、交流を深める場として10月に開催されます。ニュースポーツ体験会をはじめ、キッチンカーも出店します。(関連ページ→4ページ)



冬

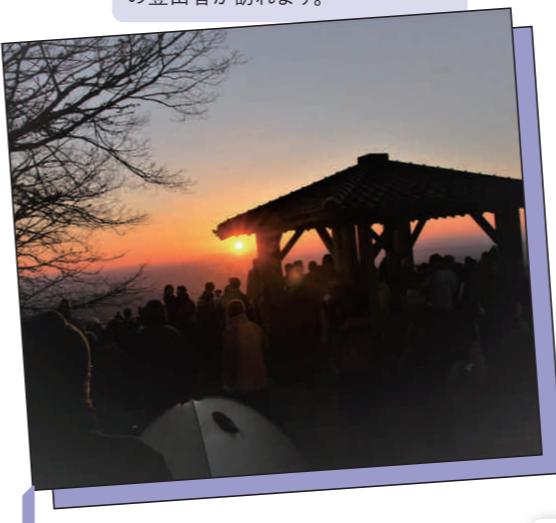
<大久野イルミネーション>

2005年に発足した「大久野を明るくする会 実行委員会」による「大久野イルミネーション」は、毎年11月に点灯式が行われ、12月末頃まで秋川街道沿いを美しく照らします。



<日の出山ご来光 (元旦)>

日の出山山頂はご来光が見られるスポットとして、元日には毎年多くの登山者が訪れます。



<どんど焼き>

日の出町では、毎年成人の日付近の早朝から各自治会で「どんど焼き」を実施します。正月飾りやお守り、お札などを燃やし、一年の無病息災を願います。



歳時記・イベントカレンダー

- | | |
|--|-----|
| ●ひので桜まつり (塩田堤) ●長井八坂神社祭礼 (長井八坂神社)
●竹の子狩り (町内各地) | 4月 |
| ●花咲きまつり (太陽の家) | 5月 |
| ●ひので夏まつり (町民グランド) | 7月 |
| ●玉の内獅子舞 (三嶋神社) ●双盤念仏 (西徳寺)
●盆踊り (各自治会) | 8月 |
| ●平井の祭り / 凤凰の舞 (春日神社)
●白山神社祭礼 (白山神社) | 9月 |
| ●いも掘り (いも掘農園)
●ひのでスポーツフェスティバル
(亞細亞大学日の出キャンパスグラウンド)
●日の出町産業まつり (イオンモール日の出) | 10月 |
| ●大久野イルミネーション (大久野地区) | 11月 |
| ●平井市 (平井地区) ●大久野イルミネーション | 12月 |
| ●ご来光 (日の出山ほか) ●どんど焼き (平井川流域)
●秋川不動尊火渡り (西福寺) ●伊奈沢天神祭礼 (伊奈沢天神) | 1月 |
| ●幸神神社祭礼 (幸神神社) | 3月 |

<いも掘り>

平井地区にあるいも掘農園では、10月初旬頃から11月中旬頃までサツマイモ掘りが楽しめます。この時期は多くの家族連れが日の出町を訪れます。



日の出町の歴史

2024年6月1日に町制施行50周年、2025年6月1日に合併70周年を迎えた日の出町。
これからも町民に愛されるまちづくりを続ける、日の出町の歴史を写真と共に振り返ります。

●明治4年(1871年)

- ・廢藩置県により神奈川県に属す

●明治5年(1872年)

- ・大久野小学校の前身・羽生学舎、細尾学舎、玉の内学舎創立

●明治6年(1873年)

- ・大久野地区会所(役場の前身)が清源寺に置かれる
- ・平井小学校の前身・誠生学舎、宝各学舎、講明学舎創立

●明治7年(1874年)

- ・大久野地区会所が天正寺に移り戸長役場と呼ぶ
- ・大久野東校(鳳鳴校:西福寺)、大久野西校(朝陽校:光明寺)、平井学校が開校

●明治10年(1877年)

- ・平井村の戸数および人口
373戸 1,891人

- ・大久野学校が開校

●明治15年(1882年)

- ・大久野大火が起こる。幸神の山から出火、大久野村の大部分と平井村北側全域に類焼(大久野焼け)

●明治17年(1884年)

- ・平井村、菅生村、瀬戸岡村の3ヶ村が連合し菅生に戸長役場を置く

●明治22年(1889年)

- ・平井、菅生、瀬戸岡、草花、原小宮が5ヶ村総合体となる

●明治26年(1893年)

- ・三多摩郡(西多摩・南多摩・北多摩)が神奈川県より東京府に編入

●明治27年(1894年)

- ・日清戦争勃発
- ・青梅線開通、福生駅ができる

●明治30年(1897年)

- ・大久野村の人口 3,292人
- ・菅生村外4ヶ村組合 5,137人

●明治37年(1904年)

- ・日露戦争勃発

●大正3年(1914年)

- ・第一次世界大戦勃発

●大正6年(1917年)

- ・平井郵便局、開局
- ・村に電灯が入る

●大正9年(1920年)

- ・大久野村 587世帯 3,280人
- ・平井村 417世帯 2,371人
- (第1回国勢調査)

●大正10年(1921年)

- ・平井村が5ヶ村連合から独立し、平井村役場を設置する
- 戸数 404戸 人口 2,592人

●大正12年(1923年)

- ・関東大震災発生



町章



自然と共に存していく日の出町の未来へ
70周年記念ロゴ&キャッチフレーズ

●大正14年(1925年)

- ・大久野村 611世帯 3,385人
- 平井村 427世帯 2,412人
- (第2回国勢調査)
- ・五日市線、拝島一岩井間開通
- ・バス、五日市-福生間開通
- ・阿伎留病院ができる

●昭和2年(1927年)

- ・平井村の諸車台数 馬車7、牛車5、荷車278、人力車4、自転車324、トラック1

●昭和3年(1928年)

- ・浅野セメント工場建設(現・太平洋マテリアル)

●昭和5年(1930年)

- ・大久野村 824世帯 4,218人
- 平井村 431世帯 2,441人
- (第3回国勢調査)

●昭和6年(1931年)

- ・市町村合併法により、大久野村、平井村が合併し、新村・日の出村が誕生

●昭和10年(1935年)

- ・大久野村 818世帯 4,202人
- 平井村 434世帯 2,336人
- (第4回国勢調査)

●昭和15年(1940年)

- ・大久野村 815世帯 4,234人
- 平井村 429世帯 2,439人
- (第9回国勢調査)

●昭和16年(1941年)

- ・太平洋戦争勃発

●昭和17年(1942年)

- ・「シダレアカシデ」国天然記念物に指定

●昭和18年(1943年)

- ・東京都制施行

●昭和20年(1945年)

- ・米軍P-51戦闘機、大久野中心部銃撃。日本セメント、役場、小学校、萱窪の一部が被害を受ける

- ・太平洋戦争終戦(ポツダム宣言受諾)

●昭和21年(1946年)

- ・日本国憲法公布

●昭和22年(1947年)

- ・大久野村 962世帯 5,212人
- 平井村 576世帯 3,306人
- (第7回国勢調査・臨時)



自然と共に存していく日の出町の未来へ
70周年記念ロゴ&キャッチフレーズ



日の出山荘会談/昭和58年
レーガン米大統領、中曾根総理大臣との日の出山荘会談



NHKラジオ体操/平成7年
合併40周年記念 NHKラジオ体操



夢パワー97めざせ日本一/平成9年
「夢パワー目指せ日本一」にて優勝

●昭和4年(1929年)

- ・第1回村民体育祭開催

●昭和5年(1930年)

- ・エントモノチス化石産地が都天然記念物に指定

●昭和6年(1931年)

- ・有線放送自動化

●昭和14年(1939年)

- ・五日市線、武藏五日市~武蔵岩井間旅客営業廃止(岩井駅撤去)

●昭和15年(1940年)

- ・一般家庭雑排水吸込槽設置費用の一部助成事業開始

●昭和16年(1941年)

- ・移動図書館車の配置(都立川図書館むらさき号の譲渡を受ける)「ひので号」と名称決定(巡回13ヵ所)

●昭和17年(1942年)

- ・日の出村で家屋の建築が始まる

●昭和18年(1943年)

- ・町制が施行、日の出町となる

●昭和19年(1944年)

- ・世帯数 2,794世帯、人口男5,336人、女5,205人 計10,541人

●昭和20年(1945年)

- ・町章の制定、記念式典を開催

●昭和21年(1946年)

- ・都市公園(日の出団地1~4号公園)設置

●昭和22年(1947年)

- ・水道事業が都営一元化で実施

●昭和23年(1948年)

- ・塩田耕地改良事業工事が完成

●昭和24年(1949年)

- ・自然休養村「さかな園」完成

●昭和25年(1950年)

- ・町民農園事業が開始

●昭和26年(1951年)

- ・児童数の増加により平井小学校プレハブ校舎を建設

●昭和27年(1952年)

- ・国土調査法に基づく地籍調査事業の開始

●昭和28年(1953年)

- ・町制が施行、日の出町となる

●昭和29年(1954年)

- ・世帯数 2,794世帯、人口男5,336人、女5,205人 計10,541人

●昭和30年(1955年)

- ・町章の制定、記念式典を開催

●昭和31年(1956年)

- ・自然休養村管理センター開設(農林水産物、特産品等の展示と販売)

●昭和32年(1957年)

- ・観光農業レクリエーション計画の実施(竹の子・いも掘り)

●昭和33年(1958年)

- ・救急患者のための祝日診療制度の開始

●昭和34年(1959年)

- ・日の出町長期総合計画(基本構想)を策定

●昭和35年(1960年)

- ・本宿小学校開校

●昭和36年(1961年)

- ・学校給食センター建設

●昭和37年(1962年)

- ・「日の出音頭・小唄」の制定・発表

●昭和38年(1963年)

- ・塩田トマト園芸組合設立

●昭和39年(1964年)

- ・三吉野パークタウン宅地造成開始

●昭和40年(1965年)

- ・庁舎建設基金条例の制定



日の出インター／平成 14 年
首都圏中央連絡自動車道「日の出インターチェンジ」開通



イオンモール日の出／平成 19 年
イオンモール日の出オープン



ひでみちゃん誕生／平成 25 年
町のイメージキャラクター「ひでみちゃん」誕生



亜細亜大学と協定締結／平成 28 年
亜細亜大学と包括的協働・連携協力に関する協定を締結



竜光寺鹿野大佛／平成 30 年
鹿野大佛一般公開開始



梅ヶ谷トンネル／令和 6 年
梅ヶ谷トンネル開通

- ・有線放送電話事業（HYG）廃止、29 年 7 か月の業務に幕
- ・平和都市宣言の制定

●平成 3 年（1991 年）

- ・防災行政無線（防災ひので）開局
- ・ひので福祉村構想発表
- ・ひのでユートピアサンホーム（福祉作業所）開設
- ・自治会コミュニティセンター維持管理費（光熱水費）の補助制度導入

●平成 4 年（1992 年）

- ・三吉野工業団地誘致企業操業開始
- ・ゴルバチョフ旧ソ連大統領夫妻、中曾根元総理大臣の招きで訪町
- ・多摩木材センター（玉の内地区）建設
- ・平井川北開発事業を町事業としてスタート
- ・公共下水道事業供用について一部開始（多摩川右岸八王子処理場）
- ・日の出診療所改築
- ・家庭雑排水吸込槽設置補助事業
- ・スポーツパーク「やすらぎとふれあいの丘」施設オープン
- ・町史「通史編・上巻」発刊

●平成 5 年（1993 年）

- ・ふるさと創生基金日の出版の創設
- ・本中橋（ユートピアブリッジ）の新設
- ・温泉井掘削工事（三ツ沢地内）
- ・高齢者（70 歳以上）入院見舞金制度創設
- ・生涯青春いきいき奨励金支給制度創設
- ・日の出福祉村宣言
- ・圈央道日の出インターチェンジ付近建設工事着手
- ・第 46 回東京都山の植樹祭（相沢沖）開催
- ・町制 20 周年記念「日の出夏祭りユートピア 93（花火大会）」実施
- ・町制 20 周年記念「日の出町の歌『ひので理想郷（ユートピア）』」制定
- ・TAMA らいふ 21 「VOICE 93」開催（国営昭和記念公園）
- ・郷土が生んだ偉人「並木伊三郎展」開催
- ・第 23 回東京都消防操法大会（ポンプ車の部）優勝
- ・ふれあい農産物直売所新装開店
- ・日の出町（仮称）第 2 廃棄物広域処分場設置に係る基本協定締結
- ・日の出町消防団「消防総監旗」受賞

●平成 6 年（1994 年）

- ・日の出町婦人消防隊誕生
- ・在宅看護支援センター開設
- ・日の出町ユートピアひまわりホーム開所
- ・「ひので三ツ沢つるつる温泉」温泉スタンド・温泉宅配便開始
- ・シルバー人材センター事務所兼作業所が建設
- ・大久野中学校特別教室棟、パソコン室、調理室、

- ・多目的ホール建設

●平成 7 年（1995 年）

- ・秋川流域斎場組合発足
- ・中野会館が完成
- ・大久野中学校屋内運動場、特別教室棟完成
- ・廃棄物広域処分組合ニツ塚処分場公害防止協定の締結
- ・松尾～阿伎留病院間 路線バス運行開始
- ・合併 40 周年記念 NHK ラジオ体操
- ・ホームヘルパー民間協力隊発足

●平成 8 年（1996 年）

- ・町道補助道第 4 号線道路改良工事（藤谷街道）着工
- ・天皇皇后両陛下林業試験場訪問
- ・生涯青春の湯「ひので三ツ沢つるつる温泉オーブン」
- ・下水道管渠布設（玉の内、新井、谷戸）工事

●平成 9 年（1997 年）

- ・「夢パワー 97 めざせ日本一」町民一千人参加で人文字の年賀状を作成 本宿小学校校庭からテレビで全国に放送、優勝する
- ・ニツ塚処分場公害防止細目協定調印

●平成 14 年（2002 年）

- ・本宿老人福祉センターオープン
- ・首都圏中央連絡自動車道「日の出インターチェンジ」開通
- ・高齢者外出支援サービス事業開始
- ・町史「通史編中巻」発刊
- ・住民基本台帳ネットワークシステム第 1 次稼動

●平成 15 年（2003 年）

- ・高齢者外出支援ドリームカー事業開始

●平成 16 年（2004 年）

- ・月見草と水の公園グラウンド完成
- ・町民体育祭、谷戸沢グランドで開催
- ・ひのでグリーンプラザ完成
- ・谷戸沢処分場、埋立期間延長調印
- ・下水道管渠布設（玉の内、萱窪、幸神）工事

●平成 10 年（1998 年）

- ・三多摩廃棄物広域処分組合ニツ塚処分場一部供用開始

●平成 11 年（1999 年）

- ・14 年間にわたった谷戸沢処分場の埋立が終了
- ・ニツ塚処分場の埋立投入開始
- ・ホーリー駐日アメリカ大使訪町
- ・全町内にわたるダイオキシン類調査実施
- ・秋川流域火葬場および斎場建設に伴う造成工事安全祈願祭
- ・三吉野土地区画整理事業竣工
- ・下水道管渠布設（萱窪、下平井、宿通）工事

●平成 12 年（2000 年）

- ・各種証明書の電話予約宅配サービス試行開始
- ・谷戸沢廃棄物処分場開設 20 周年記念事業「多摩環境フェスティバル」実施
- ・大久野健康いきいきセンターオープン
- ・日の出町こんにちは安全・安心まちづくり条例」制定
- ・日の出町小さな蔵の資料館オープン

●平成 17 年（2005 年）

- ・合併 50 周年・町制施行 30 周年記念事業（記念式典・花火大会）
- ・「日の出町こども育成基本条例」制定

●平成 18 年（2006 年）

- ・次世代育成クーポン交付事業開始
- ・エコセメント化施設稼働

●平成 19 年（2007 年）

- ・下水道管渠布設（宮本、幸神）工事

- ・「ひでの出庄」（中曾根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館）オープン

●平成 20 年（2008 年）

- ・出産助成金支給事業開始
- ・「イオンモール日の出」オープン

●平成 21 年（2009 年）

- ・75 歳以上医療費無料化事業開始

●平成 22 年（2010 年）

- ・町制施行 35 周年記念事業（式典・オリンピック招致講演会）

●平成 23 年（2011 年）

- ・平井生涯青春ふれあい総合福祉センターオープン

●平成 24 年（2012 年）

- ・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）開始

●平成 25 年（2013 年）

- ・「住宅用太陽光発電システム」設置経費の一部助成

●平成 26 年（2014 年）

- ・「日の出町がん医療費の助成制度」が開始

●平成 27 年（2015 年）

- ・「日の出町やまびこホール」完成

●平成 28 年（2016 年）

- ・「元気で健康に長生き医療費助成制度」開始

●平成 29 年（2017 年）

- ・「第 4 次日の出町長期総合計画後期基本計画策定

●平成 30 年（2018 年）

- ・「日の出町がん医療費の助成制度」が開始

●平成 31 年（2019 年）

- ・「ひでの出庄」（中曾根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館）オープン

●平成 32 年（2020 年）

- ・「ひでの出町やまびこホール」完成

●平成 33 年（2021 年）

- ・「元気で健康に長生き医療費助成制度」開始

●平成 34 年（2022 年）

- ・「ひでの出庄」（中曾根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館）オープン

●平成 35 年（2023 年）

- ・「ひでの出庄」（中曾根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館）オープン

●平成 36 年（2024 年）

- ・「ひでの出庄」（中曾根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館）オープン

開催

- ・「日の出山莊」（中曾根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館）オープン
- ・「日の出町やまびこホール」完成

●令和元年（2019 年）

- ・天皇即位・改元

●令和2年（2020年）

- ・新型コロナウイルス感染症流行対応、イベント等が中止される
- ・役場に直通電話導入
- ・新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として特別定額給付金事業により、対象者 1 人につき 10 万円の給付が行われる

●令和3年（2021年）

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックが一年遅れて開催
- ・生涯青春の湯「ひでの出庄」（中曾根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館）オープン
- ・あきる野市と新学校給食センターの建設及び運営に関する基本合意書締結
- ・第五次日の出町長期総合計画策定
- ・町の税金が「Pay Pay」「LINE Pay」での納付が可能となる

●令和4年（2022年）

- ・公共施設予約システム導入
- ・コミュニティバス「ぐるりーん ひでの出庄」運行開始
- ・福祉単独施策見直し開始
- ・イオンモール株式会社との包括的連携に関する協定締結
- ・「下平井の鳳凰の舞」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録
- ・2 年ぶりに「日の出町産業まつり」を再開
- ・国立大学法人東京大学と「高齢者にやさしい地域づくり」に係る覚書を締結

●令和5年（2023年）

- ・町民グランド改修（LED 化）
- ・機関車バス「青春号」運行終了
- ・4 年ぶりに「ひでの出庄」（中曾根康弘・ロナルドレーガン 日米首脳会談記念館）オープン
- ・公益社団法人東京都宅地建物取引業協会、日の出町シルバー人材センターと「日の出町空き家等対策に関する協定書」を締結

●令和6年（2024年）

- ・町制施行 50 周年
- ・梅ヶ谷トンネル開通
- ・こども家庭センター「こそだち」開設
- ・町立小中学校の給食費無償化
- ・西武信用金庫との包括的連携・協力に関する協定締結
- ・日の出町消防団が東京都消防褒賞を受賞

データでみる日の出町

資料・統計

日の出町

面積

28.07km²

位置（町役場）

東京都西多摩郡日の出町大字平井 2780 番地

標高：170m

東経：139 度 15 分 42 秒

北緯：35 度 44 分 17 秒



「日の出町」の由来

大久野村と平井村が合併した1955年、「日の出の勢いで成長するように」と、東京都総務局長 細田義安氏（当時）が、日の出山に由来し「日の出町」と命名。1974年6月1日に町制が施行され、「日の出町」となりました。



うぐいす、もみ、ふじは1985年に合併30周年を記念して選定、さくらは1997年に「ひので桜100万本植樹プラン21」計画を記念して制定されました。

町章

ヒノデの「ヒ」を左右円形に図案化。町の円満和平と明るい未来への願いが込められています。町制が施行された1974年に応募総数239点の中から公募で決定されました。

町民憲章

日の出町民憲章は1980年に策定され、町づくりの基本理念を示しています。助け合いとふれあいを大切にし、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちを願い、右の5か条が掲げられました。

- お互いに手をとり助けあい、心の通う明るいまちにしよう
- 子どもたちがすくすく育ち、おとしよりの幸せなまちにしよう
- 教養を豊かにし、スポーツを楽しむ希望のあふれるまちにしよう
- 美しい自然を大切にし、調和のとれた活力のあるまちにしよう
- 働くことをよろこび、みんな健康で住みよいまちにしよう

町の生活（令和6年度）

出生	1日に 0.1 人	転入	1日に 1.6 人
死亡	1日に 1.0 人	転出	1日に 1.4 人
結婚	1日に 0.1 組	結婚	1日に 0.1 組
離婚	1日に 0.1 組	町民税	[世帯] 97,302 円 [個人] 55,678 円

交通事故	1日に 0.1 人
火災	1日に 1.0 人
刑法犯	1日に 0.1 組

資料「町民課」・「数字で見る西多摩」
(交通事故・火災・刑法犯)

大字別世帯人口

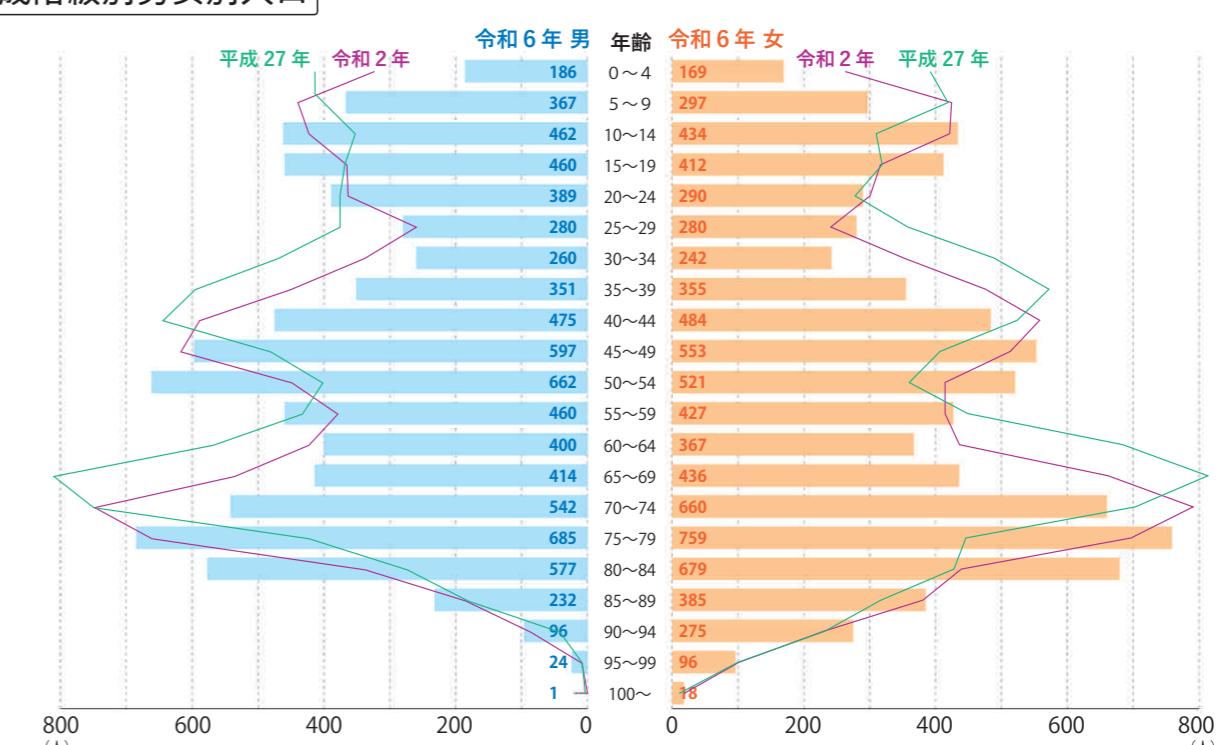


大字別世帯



資料「自治会別世帯数人口集計表」
※各年、1月1日時点の総人口

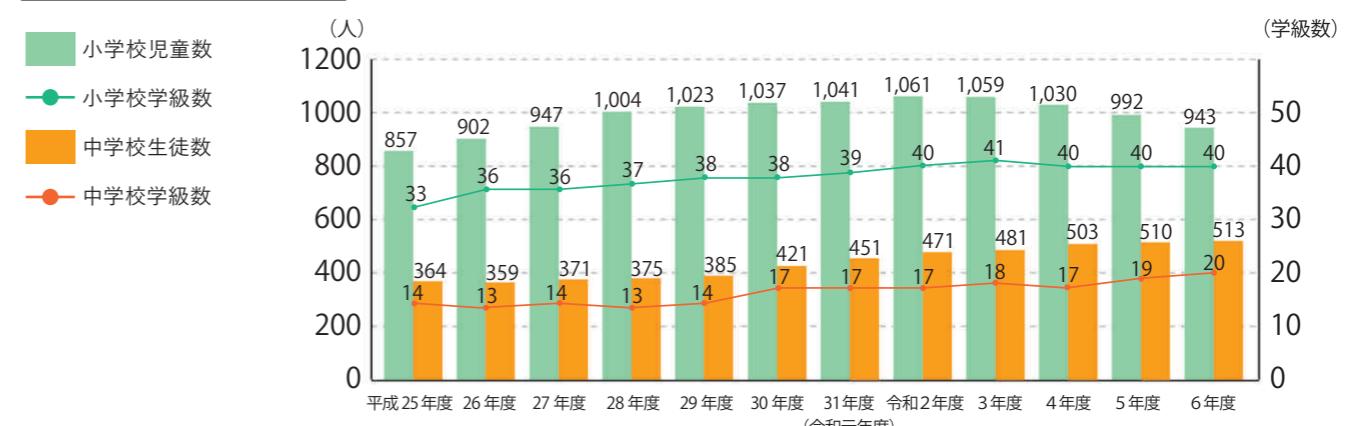
5歳階級別男女別人口



資料「住民基本台帳」※令和6年12月31日現在

※折れ線グラフは各々記載された年度の人口ピラミッドを表しています。

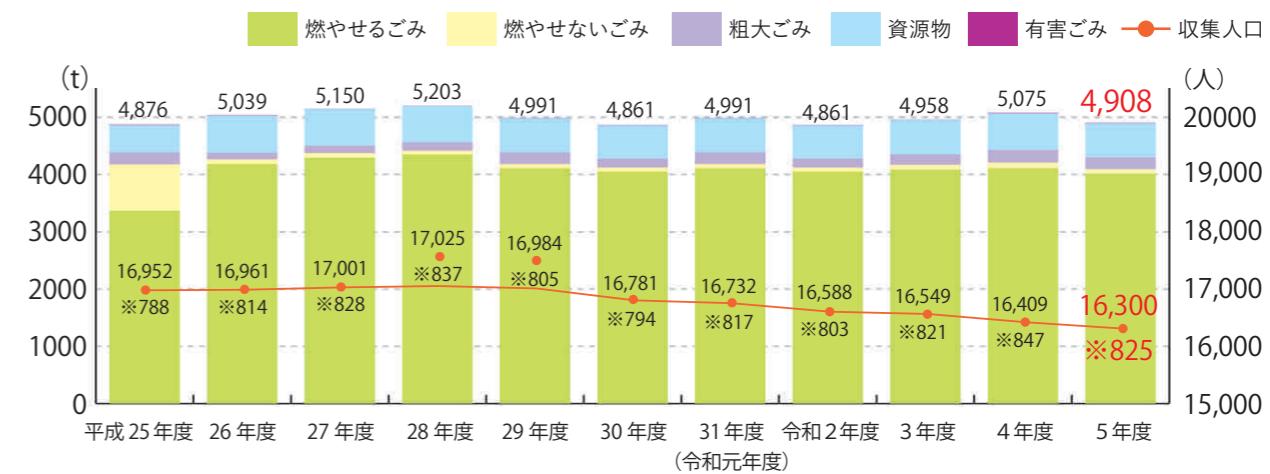
児童・生徒数の推移



資料「小・中学校児童生徒・学級数・教員数一覧」※学校数 小学校3校、中学校2校

※各数値は各年度5月1日時点の学校基本調査の数値

ごみ収集処理状況



資料「多摩地域ごみ実態調査」

※1人あたりの排出量(g/日)

ILLUSTRATION MAP

日の出町

自然豊かな環境と、都心への利便性を兼ね備えた日の出町には、観光スポットや暮らしを彩る施設が点在しています。四季の自然に包まれ、地域のつながりを感じながら安心して暮らせるまちの魅力を、イラストマップでご紹介します。

